

令和3年度 3学年地理B(シラバス)

1. 教科名・科目名・単位数・履修学年・使用する教科書・副教材等

【教科名 地理歴史】 【科目名 地理B】 【単位数 4】 【履修学年 3年】

【使用する教科書 新詳地理B(帝国書院)、新詳高等地図(帝国書院)】

【副教材等 新詳地理Bノート(帝国書院)、新詳地理資料2021】

【担当者 久高 健・高良 由加利・呉屋 彩希子】

2. 学習目標と評価基準

(1) 関心・意欲・態度

- ①地理的事象に対する課題について、関心を強めているか。
- ②意欲的に課題を追求し、客観的に考察しようという態度を身につけているか。
- ③国際社会の一員として、主体的に行動し責任を果たそうとしているか。

(2) 思考・判断・表現

- ①地理的事象に関する課題を見だし、それらを総合的な観点から考察しているか。
- ②国際的な社会の変化を踏まえ、その課題を客観的に判断しているか。
- ③考察した過程や結果を、様々な方法で適切かつ論理的に表現しているか。

(3) 資料活用の技能

地理的事象に関する諸資料を様々な媒体を利用して収集し、有用な情報を主体的に選択・活用している

か。

(4) 知識・理解

日本及び世界各地の生活・文化の地域的特色について、基本的な事柄を理解し知識として身につけている

か。

3. 年間学習計画

月	単元と項目	時数	学習の目標(ねらい)及び内容	主な学習活動
4	第I部 1章 地理情報と地図 1節 地図の発達 1 現代世界の地図 2 世界観の変化と地図	1	現代世界の地図について、どのような技術を利用してつくられているかをとらえ、地図の有用性に気づくとともに、時代背景や地図の中心の違いなどによって世界観が変化することについて理解を深める。	各時代の世界地図を現代のそれと比較することを通じて、当時をきた人々の世界観の特徴について考察します。
	2節 地図の種類とその利用 1 地球上の位置 2 時差の求め方 3 地球儀とさまざまな地図	2	球体としての地球の特徴をとらえ、緯度・経度の違いによって時差や気候に違いが生じるメカニズムを考察する。さらに、球体を平面に表現した地図の種類とその利用についても考察し、現代世界の地理的事象をとらえる地理的技能を身につける。	世界各都市間の時差を求める方法を身につけるとともに、時差計算を行います。用途に応じた世界地図の活用方法を考えます。
	3節 地理情報の地図化	1	情報の地図化や読み取りなどの活動を通して、地図の有用性に気づくとともに、地理情報を地図上に表現する際の効果的な表現方法を考察する。	地形図と主題図を見比べてそれぞれの特徴と利点について具体的な事例となる地図を用いて考察します。
	2章 地図の活用と地域調査 1節 地図の活用 2節 身近な地域の調査 1 調査テーマの設定 2 課題の調査 3 調査結果のまとめと発表	2	地図の活用と地域調査について、直接的に調査できる地域を地形図などの地図を活用して多面的・多角的に調査し、生活圏の地域的特色をとらえる地理的技能を身につける。	地形図を用いて土地利用、距離、面積など基礎的事項について読み取ります。地形図や景観写真を用いて学校周辺地域の特徴について読み取ります。
	第II部 1章 自然環境 1節 世界の地形 1 地形の成因 2 地球規模の大地形 3 河川と海岸の小地形 4 そのほかの特徴的な地形	7	世界の地形について、大地形、小地形、そのほかの地形の分布や特徴、成因について考察するとともに、災害や土地利用など人間生活とのかかわりについて理解を深める。	地球表面の起伏の状態について読み取るとともに、地形の形成要因について考察します。大地形の分布の特徴についてプレート境界や地震帯・火山帯分布との関係から考察します。
	2節 世界の気候 1 気候の成り立ち 2 世界の気候区分 3 気候と植生・土壌 4 変化する気候	7	世界の気候について、地域ごとの違いとその要因について理解を深めるとともに、気候区ごとの特徴や人間生活との関係を考察する。また、地球規模での気候変動と人々への影響について理解を深める。	世界規模での各気候帯の分布の特徴、各気候帯と植生・土壌との対応関係について考察します。雨温図やハイサーグラフを作成し、それを読み取ることで気候区を判別し、その特徴について
5	3節 日本の自然の特徴と人々の生活 1 日本の地形 2 日本の気候 3 開発に伴う災害と防災	2	日本の自然の特徴と人々の生活について、地形や気候の特徴と、これによる自然災害の特徴を理解するとともに、土地開発の状況などもふまえて防災のあり方について理解を深める。	日本の国土の特色をつかみ、そこから課題を抽出します。
	4節 環境問題 1 世界の環境問題 2 さまざまな環境問題 3 日本の環境問題	2	世界の環境問題について、その背景や原因、影響、対策を多面的に考察する。また、日本国内の環境問題について発生した背景や問題解決への取り組みについて理解を深める。	各種資料より地球温暖化やオゾン層破壊の現状を把握し、その背景・要因とそれがもたらす問題について考察します。

月	単元と項目	時数	学習の目標(ねらい)及び内容	主な学習活動
6	2章 資源と産業 1節 世界の農林水産業 1 農業の発達と分布 2 農業の地域区分 3 現代世界の農業の現状と課題 4 世界の林業・水産業	4	世界の農林水産業について、自然条件や社会条件と関連づけて農業の地域区分をとらえるとともに、現代世界の農林水産業の現状と課題を考察する。また、世界のなかでの日本の農林水産業の課題について理解を深める。	農業立地の成立要因について自然、社会、市場との距離、経済水準、国家政策の側面から考察します。
	2節 食料問題 1 世界の食料問題 2 発展途上国の食料問題 3 先進国の食料問題 4 日本の食料問題	2	食料問題について、世界の食料需給の地域的なかたよりを大観し、発展途上国と先進国の事例や日本が抱える食料問題について理解を深める。	世界の農産物流通の特徴について小麦、米、肉類、野菜を例に考察します。日本の農産物輸入自由化に伴う食料自給率の低下によって引き起こされる問題点について考察します。
	3節 世界のエネルギー・鉱産資源 1 エネルギー資源の種類と利用 2 化石燃料の分布と利用 3 電力の利用 4 鉱産資源の種類と利用	2	世界のエネルギー・鉱産資源について、それぞれの種類や分布、利用の現状や方法について理解を深める。	統計を用いてエネルギー生産・消費量の増大、消費格差とその背景について考察します。
	4節 資源・エネルギー問題 1 現代世界の資源・エネルギー問題 2 さまざまな資源・エネルギー問題 3 日本の資源・エネルギー問題	2	資源・エネルギー問題について、世界と日本の資源・エネルギー問題を大観し、問題の原因や近年の動向、問題解決の取り組みを考察する。また、日本が抱える資源・エネルギー問題について理解を深める。	化石燃料の大量消費に伴い生じる枯渇化や地球温暖化などの環境問題についてさまざまな観点から考察します。
	5節 世界の工業 1 工業の発達と種類 2 工業の立地とその変化 3 世界の工業地域 4 現代世界の工業の現状と課題 5 日本の工業	5	世界の工業について、工業の発達過程や種類、立地とその変化、現状と課題を考察する。また、日本の工業の特徴と課題について理解を深める。	工業立地の条件がどのように類型化されるのか考察するとともに、立地の変化要因とそれによって生じる問題点について考察します。
	6節 第3次産業 1 第3次産業の発展 2 多様化する観光産業 3 日本の観光産業	1	第3次産業について、その特徴や発展の背景、地域差などをとらえるとともに、世界と日本の観光業の特徴について理解を深める。	サービス経済化の拡大の背景、サービス業の大都市における展開の特徴について統計資料をもとに考察します。
	7節 世界を結ぶ交通・通信 1 世界の交通網 2 情報と通信の発達	1	世界を結ぶ交通・通信について、交通機関の種類や特徴をとらえるとともに、通信の発達による世界の一体化と地域差について理解を深める。	交通・通信手段の発達によりもたらされた利点と問題点について具体例を挙げて考察します。
	8節 現代世界の貿易と経済圏 1 私たちの生活を支える貿易 2 国際分業の発達と貿易の地域間格差 3 貿易の自由化と経済連携 4 日本の貿易の現状と課題	1	現代世界の貿易と経済圏について、進展する国際分業の現状と課題、貿易の自由化と経済連携の動向を考察する。また、現代世界における日本の貿易の現状と課題について理解を深める。	自由貿易体制が構築された背景やそれに伴い生じた国際分業体制の特徴について統計資料をもとに考察します。
	3章 人口、村落・都市 1節 世界の人口	1	世界の人口について、その分布の特徴や動態、人口構成や人口転換について理解を深める。	世界の人口分布と人口推移の現状について主題図や統計を用いて地球的視野から考察します。
	2節 人口問題 1 世界の人口問題 2 発展途上国の人口問題 3 先進国の人口問題 4 日本の人口問題	2	人口問題について、世界の人口問題を大観し、発展途上国と先進国のそれぞれについて、その要因や対策をとらえる。また、日本の人口問題の課題と解決への取り組みについて理解を深める。	統計資料を用いて人口動態の推移について考察し、各国の人口ピラミッドを作成することで、その国の置かれた社会状況について考察します。
7	3節 村落と都市 1 集落の成り立ち 2 村落の形態と機能 3 都市の機能と生活	4	村落と都市について、その立地条件や発達の背景、村落や都市がもつ機能と人間生活のかかわりについて理解を深める。	主題図を用いて都市の分布の特徴を把握するとともに、その発達や大都市圏の形成過程について多面的に考察します。
	4節 都市・居住問題 1 世界の都市・居住問題 2 発展途上国の都市・居住問題 3 先進国の都市・居住問題 4 日本の都市・居住問題	3	都市・居住問題について、世界の都市・居住問題を大観し、発展途上国と先進国のそれぞれについて、その要因や対策をとらえる。また、日本の都市・居住問題の課題と解決への取り組みについて理解を深める。	発展途上国における都市化の過程とそれに伴って生じる居住・都市問題、先進国における都市の衰退現象に伴う問題点とそれをもたらした社会的背景について考察します。
	4章 生活文化、民族・宗教 1節 世界の衣食住 1 世界の衣食住の地域的差異 2 衣食住の世界的な画一化 3 日本の衣食住	2	世界の衣食住について、地域的差異があることに気づくとともに、世界的に画一化が進む現状を考察する。また、日本の衣食住の特徴やその変化について理解を深める。	文化についての定義を踏まえた上で、写真や具体物を用いて文化の差異と融合、多様性について多面的・多角的に考察します。
	2節 民族と宗教 1 世界の民族・言語 2 世界の宗教	2	民族と宗教について、民族と言語、世界の宗教の分布や特徴、生活とのかかわりについて考察する。	国民国家やエスニシティとの関係性や言語・宗教の世界規模での分布の特徴について多角的・多面的に把握します。
	3節 現代世界の国家	1	現代世界の国家について、国家と領域・国境のあり方、国家と主権の考え方、さまざまな国家と国家間の関係の課題について理解を深める。	国家の領域や国境の概念について具体例をあげながら多面的・多角的に考察します。
	4節 民族・領土問題 1 世界の民族・領土問題 2 多様な原因をもつ民族・領土問題 3 共生に向けた取り組み 4 日本の領土をめぐる問題と外国人との共生	3	民族・領土問題について、現代世界の民族・領土問題を大観し、そのおもな原因と共生に向けた取り組みを考察する。また、日本の領土をめぐる問題や日本国内で暮らす外国人との共生の課題について理解を深める。	領土問題発生背景の国益の衝突にあることを踏まえ、問題を平和的に解決するための方法について模索します。
第Ⅲ部 1章 現代世界の地域区分 1節 地域区分とは何か	1	地域区分の目的と意義を理解し、有用性に気づく。	地域区分法としての等質地域と機能地域との違いについて主題図を参照しながら考察していきます。	

月	単元と項目	時数	学習の目標(ねらい)及び内容	主な学習活動
9	現代世界の地誌的考察 2章 現代世界の諸地域 1節 地域の考察方法	1	国・地域ごとの地域区分と考察の方法について理解する。	地域区分の方法について自然、政治、経済、文化の4つの指標から考察します。
	2節 東アジア ○変化に富んだ地形と気候 1 中国の歩みと巨大な人口 2 中国の食生活と農業の変化 3 中国の工業化と巨大市場 4 中国の海外進出 5 朝鮮半島の歩みと文化 6 韓国の産業の発展と変化	7	東アジアについて、形式的な地域区分にもとづき、自然環境、中国の歴史・文化と巨大な人口、農業、工業、中国の海外進出、朝鮮半島の歴史・文化、韓国の産業という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	計画経済から改革開放路線への変化に伴い何がもたらされたのか、統計を活用しながら経済面・貿易面を中心に考察します。韓国の20世紀前半の苦難の歴史から急速な経済成長に至るまでの変遷について歴史的背景を踏まえながら具体的に考察します。
	3節 東南アジア モンスーンの影響を受ける自然環境 1 東南アジアの歴史と文化・民族 2 東南アジアの農業とその変化 3 ASEANの結成と工業の発展 4 ASEANの変化と課題	5	東南アジアについて、形式的な地域区分にもとづき、自然環境、歴史と文化・民族、農業、工業、ASEANの変化と課題という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	主題図や写真を用いて東南アジアの概要について気候環境、言語、宗教を切り口に考察します。東南アジアにおける商業的農業の展開とその課題について歴史的背景を踏まえながら考察します。
10	4節 南アジア 三つに分けられる地形とモンスーンの影響を受ける気候 1 南アジアの歩みとヒンドゥー教 2 インドの農業と農村の変化 3 発展するインドの産業と変化	4	南アジアについて、形式的な地域区分にもとづき、地形と気候、歩みとヒンドゥー教、インドの産業と生活の変化という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	インドの経済自由化や産業開発、工業化の進展と国土構造の変化についてグローバル化に伴う経済発展との関わりから主題図や統計を用いて考察します。
	5節 西アジアと中央アジア 乾燥した大地が広がる二つの地域の自然環境 1 イスラームを中心とした生活文化 2 交易を軸に発達した都市 3 豊かな資源と人々の生活	4	西アジアと中央アジアについて、乾燥帯が広がる自然環境に着目した地域区分にもとづき、自然環境、イスラームの生活文化、交易と都市、資源と産業の面において、類似的な性格の二つの地域を比較して考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	西アジア・北アフリカの形成過程と今日的な課題について自然環境や歴史的背景を踏まえながら考察します。西アジア・北アフリカ諸国の共通点と相違点について民族、宗教、言語を指標に考察します。
	6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ 赤道を軸に南北で対照的な二つの地域の気候と植生 1 歴史的な背景によって形成された多様な文化 2 一次産品への依存が強い産業 3 人々の生活の変化とほか地域との結びつき	5	北アフリカとサハラ以南のアフリカについて、中近東文化と中南アフリカ文化という文化に着目した地域区分にもとづき、気候と植生、歴史的背景と文化、一次産品への依存、生活の変化とほか地域との結びつきの面において、対照的な性格の二つの地域を比較して考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	サハラ砂漠以南のアフリカの特色について自然環境や文化の側面から理解を深めるとともに、その成り立ちについて歴史的背景を踏まえながら理解を深めます。経済構造の特徴とそれによりもたらされた問題点について理解を深めます。
11	7節 ヨーロッパ 高緯度でも温暖な気候と安定した大地 1 ヨーロッパの成り立ち 2 結びつくヨーロッパ 3 ヨーロッパの多様な農業と共通農業政策 4 移り変わるヨーロッパの工業 5 これからのヨーロッパ	8	ヨーロッパについて、形式的な地域区分にもとづき、自然環境、歴史、EUの結びつき、農業、工業、今後の動向という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	主題図や各種資料を用いてEU統合が進む背景について民族と宗教との関わりから考察するとともに、統合へ向けての歴史の変遷について考察します。EUの東方拡大の現状と課題について考察するとともに、欧州以外の地域との関係についても貿易面を中心に考察します。
	8節 ロシア 広大な国土と多様な自然環境 1 ロシアの歴史と社会の変化 2 大きく変化したロシアの産業	5	ロシアについて、亜寒帯が広がる自然環境に着目した地域区分にもとづき、自然環境、歴史、産業という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	主題図や写真を用いてロシアと周辺諸国の地域的多様性について地形、気候、民族を指標に考察します。ロシアの農業、鉱工業地域の分布の特徴について多面的・多角的に考察します。
12	9節 アングロアメリカ 南北と東西で異なる自然環境 1 移民国家としてのアメリカ合衆国の発展 2 アメリカ合衆国の人口と都市 3 世界の農業のかぎをにぎるアメリカ合衆国 4 進展する科学技術と産業 5 世界の中のアメリカ合衆国 6 アメリカ合衆国との結びつきが強いカナダ	9	アングロアメリカについて、文化に着目した地域区分にもとづき、自然環境、アメリカ合衆国の移民国家としての発展、人口と都市、農業、科学技術と産業、世界に影響のあるアメリカ合衆国、アメリカ合衆国との結びつきが強いカナダという多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	写真や主題図を用いて北アメリカの自然環境の多様性とそれによって形成される農業地帯の特色について考察します。北アメリカの鉱工業地域の変化について先端技術産業の発展との関わりから考察します。
1	10節 ラテンアメリカ 南北と標高で異なる自然環境 1 ヨーロッパ社会の影響が強い文化 2 大土地所有制と農業の変化 3 鉱産資源を基盤とした工業化と生活の変化	4	ラテンアメリカについて、文化に着目した地域区分にもとづき、自然環境、文化、大土地所有制と農業の変化、工業化と生活の変化という特色ある事象とほかの事象を有機的に関連づけて動態的に考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	主題図や写真を用いて中央・南アメリカ諸国における自然環境と歴史・文化の特徴について歴史的背景を踏まえながら考察します。
	11節 オセアニア 一つの大陸と太平洋の島々 1 オセアニアの移民の歴史と多文化社会 2 資源を通じて強まるアジア諸国との結びつき 3 アジア諸国に輸出される農畜産物 4 物や人の移動が強まるアジアとの結びつき	4	オセアニアについて、形式的な地域区分にもとづき、一つの大陸と太平洋の島々、移民の歴史と多文化社会、強まるアジアとの結びつきという特色ある事象とほかの事象を有機的に関連づけて動態的に考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	多文化社会を形成しているオーストラリアの国家としての成り立ちについて、先住民族、ヨーロッパ移民、アジア系移民との関わりから考察します。オーストラリア経済における鉱産資源と観光資源の重要性について認識するとともに、その特徴について考察します。
2	3章 現代世界と日本 1節 日本が抱える地理的な諸課題 2節 日本の抱える課題の追究 1 テーマを設定する 2 課題を探究する 3 仮説を検証する 4 まとめと発表	3	現代世界において日本が抱える地理的な諸課題について、多面的・多角的に考察し、探究する活動を通して、その解決の方向性や将来像について考察する。	国家規模の地理的な諸課題を見いだすために日本の国土の特色をつかみ、そこから課題を抽出します。